



# 慶應大生プロジェクトレポート第3弾 麺を地域の活力に!! 活動の全貌に迫る



## 「みんなの酒田ラーメン考え隊」発足の目的

当たり前前にある郷土の味を地域の財産として全国発信



慶應義塾大学修士課程 本間裕二さん

同プロジェクトのリーダー的役割を果たす、慶應義塾大学修士課程の本間裕二さんは、昨年9月に初めて酒田を訪れた。千葉県館山市出身の本間さんは「あっさり系の魚ダシに衝撃を受けた。この味は地域の財産になり

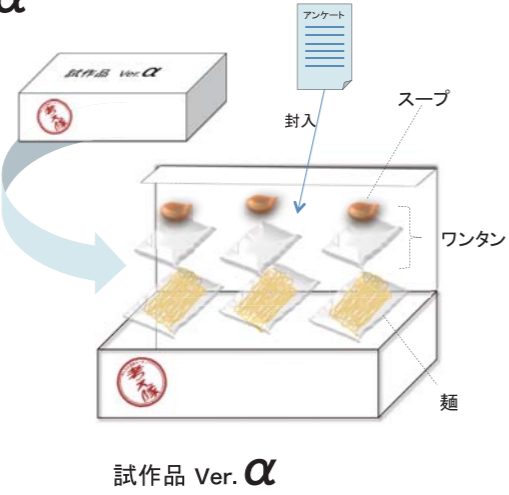


慶應義塾大学修士課程 中山太護さん

うるのでは」と考えた。その後、酒田市出身の同大学修士課程の中山太護さんと共に、何度も酒田を訪れ、店主・行政・市民・マスコミなどで校正する横断的な組織「みんなの酒田ラーメン考え隊」を立ち上げた。

## まずは土産品の開発に着手 家庭でも本格ワンタン麺を

同組織には、前述した7つの活動目的がある。②⑦は、将来的な目標だが、現在、中期的なプロジェクトとして①お土産品開発が始動している。



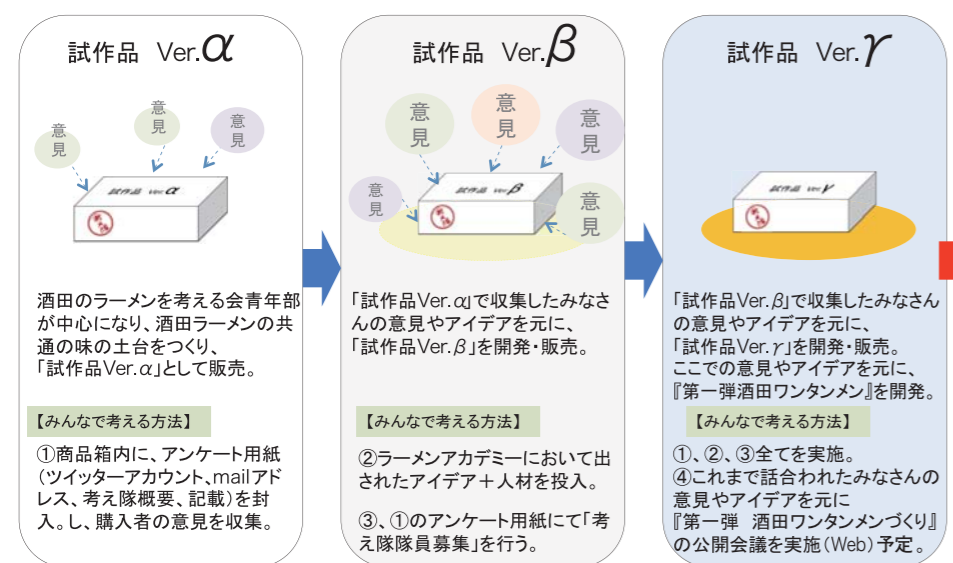
### 商品開発 (現状案)

○コンセプト: 「みんなまで酒田を盛り上げるきっかけづくり」+「酒田ラーメンの商品化」+「特徴的なワンタン」!  
= みんなでつくる酒田ワンタンメン 商品開発事業

- 商品名: 大学生監修 酒田ワンタンメン 試作品 Ver.α
- 内容物: 麺・スープ・ワンタン(3食入り) (加工方法は現在検討中)
- 価格: 1,000円(消費税込み)
- 事業理念: ラーメンをツールに酒田をみんなで盛り上げる
- 事業ビジョン: 考え隊員1万人。酒田ラーメンの全国的知名度\*
- 主要ターゲット顧客層: 酒田出身・酒田在住の人 酒田を訪れた観光客
- チャネル: ラーメン店、観光施設、アンテナショップ
- ニーズ: 活性化への具体策 特徴的なご当地グルメの企画 つながりへの渴望感

### 商品開発のプロセス

段階的に試作品開発を行うことにより、「みんなの」酒田ワンタンメンの味づくりを行う



地元業者に発注したさまざまなワンタンを吟味する

### 7つの活動内容

- ①市民参加型でお土産品ラーメンを開発  
考え隊に市民を巻き込んで盛り上げていくために、②と連携して市民参加型でお土産用のラーメンを開発する。
- ②ラーメン教室の開催  
長年親しまれてきた酒田ラーメンの味を一般家庭でそろそろ具材で作れるようなレシピを考案。同時に、酒田ラーメンの統一した味を開発する。また、酒田ラーメンに関する勉強会も行う。
- ③ご当地グルメ大会での優勝  
酒田ラーメンの全国的認知度向上を図るため、ご当地グルメ大会(B-1グランプリ)に出場。優勝を目指す。また、将来的には、考え隊が中心となり、ご当地ラーメンの祭典を企画することも視野に入れる。
- ④酒田ラーメンSNS・酒田ラーメンwikipedia等の情報ツールの開発・運用  
酒田ラーメンを応援する人たちのコミュニティとして、酒田ラーメンSNSの立ち上げと、酒田ラーメンに関する情報蓄積の場としてwikipediaなどの情報共有ツールの開発・運用を行う。
- ⑤祭りやイベントなどへ積極的に参加  
酒田ラーメンのプロモーション及び新しいサポーター募集の場となる祭りやイベントなどに積極的に参加。
- ⑥酒田ラーメンに関わるグッズ開発  
酒田ラーメンのキャラクター・関連商品を含めた商品開発を行う。
- ⑦酒田ラーメンツアー企画・実施  
酒田ラーメン店をはしごし、酒田市内の観光名所を巡るツアーの企画・実施を行う。

### 考え隊のPRに励んだ 慶大生と公益大生



慶應大学 酒井謙次さん (カリフォルニア出身) 慶應大学 田辺崇大さん (新潟県出身) 慶應大学 加藤義士さん (秋田県出身)



滞在中の毎朝、気合を入れてから店を回る



公益大からは、インターシップ生と女性の学生2名が参加した。



自転車でお土産品をPRして回った4人の慶應大生のほか、地元・東北公益大生からも考え隊の活動に協力。互いに知恵を出し合った。

慶大生が続々協力 知名度向上に二役  
本間さんと中山さんの想いに賛同し、今年7月には、4人の慶應大生が酒田を訪れた。観光用自転車車で市内ラーメン店を回り、考え隊の知名度アップに一役買った。



慶應大生とタッグを組む、酒田のラーメンを考える会青年部

### 今後の展開 会議を重ねて土産品の土台作り

現在、土産用ラーメン開発のため、考える会青年部と製麺業者が会議を重ねる。慶應大生は、インターネット回線を通して参加することもある。麺の太さ、ワンタンの

厚さや具を吟味。スープに合わせて、何度も何度も試食する。この土産品で酒田の味のイメージが決まってしまう恐れもあるため、慎重に、納得いくまで試作を続けている。



この日、中山さんはネットから会議に参加



1枚のワンタンに、多くのプロが情熱を注ぐ